

近松門左衛門生誕370年記念

人形劇団 クラルテ

おんなころし

あぶらのどろこく

女殺油地獄

近松門左衛門が現代に放つサスペンス

脚色 吉田 清治

演出・脚色(潤色) ふじた あさや



北陸初公演

こんな現代人形劇見たことない！

2023. 10.7 土

13:15 開場
14:00 開演

鯖江市文化センター 福井県鯖江市東鯖江3丁目7-1

料金 一般 1,500円 高校生以下 800円

※全席自由・税込 ※小学5年生以上対象

主催・お問合せ | 鯖江市・鯖江市教育委員会 文化課 TEL(0778)53-2257

共催 | 福井テレビ



令和元年大阪での公演が、第74回 文化庁芸術祭演劇部門(関西の部)において大賞を受賞。初めての北陸公演となります。
「観客を物語に引き込む本格的な現代に通じる人間ドラマ」として人形芝居を臨場感のある劇場空間でお楽しみください。



おんなころしあぶらのぢごく

女殺油地獄



あらすじ

天満の油屋・河内屋与兵衛は、23歳にして未だ家業に身を入れず、親の金で遊び暮らしていた。ある時与兵衛は悪事を重ね、ついに母のおさわから勘当を言い渡される。家を追い出され借金に首の回らない与兵衛は、油を商う同業者の豊島屋を訪れ、姉のように世話をやいてくれるお吉に借金を頼むも断られる。切羽詰まった与兵衛は、お吉に油を二升貸してくれと持ちかけて油断させ、その背後から隠し持った脇差(小刀)を手に忍び寄る…。

脚色 吉田 清治

演出・脚色(潤色) ふじた あさや

近松門左衛門さん

あなたの書かれた『女殺油地獄』は、どうしてあんなに型破りなんですか？
役柄で役割が決まっている安心感を、どんどん裏切って、矛盾だらけの人間をどんどんむき出しにしていく、あんな書き方にたどり着いたのは、何故なのでしょう。
観客を矛盾の谷間に引きずり込んでいくこれは、二十一世紀の現代劇です。
クラルテでは、あなたの魅力に取りつかれた吉田清治さんが、次々と近松作品の現代人形劇化を果たしてきました。その遺志を継いで、今、クラルテは吉田作品の人形造型を生かしつつ、新しい『女殺油地獄』を作ろうとしています。それも、歌舞伎や文楽では省略している場面も含めて、あなたの原作にできる限り忠実に、これまでになかった舞台空間で—

見守ってください。手を貸してください。
三百年後の後輩 ふじたあさや

人形劇団 クラルテ

「クラルテ」とはフランス語で「光」という意味です。たとえそれがどんなささやかなものであっても、常に世の中の光でありたい、大人の人間にも子ども達にも、常に正しい光をともしたいという気持ちを表しています。
1948年2月大阪府寝屋川市香里園にて発足。一旦解散するが、1955年に住之江区南加賀屋にて再出発。以来、関西一円の小学校・幼稚園・保育所を中心に、北海道から沖縄まで全国で公演活動を行っています。2018年には劇団創立70周年を迎えました。
日本児童・青少年演劇劇団協同組合／全国児童・青少年演劇協議会／全国専門人形劇団協議会／特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター 加盟

出 演 — 西村和子・高平和子・三木孝信・菅賢吉・永島梨枝子・西島加寿子・福永朋子・松原康弘・鶴巻靖子・
藤田光平・梶川唱太・宮本敦・白國亜衣
生 演 奏 — 岡崎泰正(ギター・三味線)
演出助手 — 藤田光平
文芸助手 — 宮本 敦
舞台美術 — 永島梨枝子
映 像 — サカイヒロト
人形美術 — 吉田清治・永島梨枝子
音 楽 — 藤原豊(東京音楽大学)
音響プラン — 茨木新平
照 明 — 永山康英(永山照明事務所)
方言指導 — 松寺千恵美(関西芸術座)
合唱指導 — 信太美奈(桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授・
昭和音楽大学講師)
舞台監督 — 松原康弘
宣伝美術 — オザワミカ
制 作 — 古賀恵子

会 場 | 鯖江市文化センター

10.7日・8日
人形劇フェスタ同時開催

お問合せ

鯖江市教育委員会 文化課
TEL (0778)53-2257 FAX (0778)54-7123

・車椅子席をご希望の方は鯖江市教育委員会 文化課までお知らせください。
・駐車場には限りがあります。満車の場合はJR鯖江駅駐車場など、公共駐車場をご利用ください。

プレイガイド | 鯖江市まなべの館、鯖江市文化センター、鯖江市立待公民館、鯖江市役所売店、アルブラザ鯖江、ショッピングシティベル、武生薬市

